

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成27年8月13日 (2015.8.13)

【公開番号】特開2015-124913(P2015-124913A)
 【公開日】平成27年7月6日 (2015.7.6)
 【年通号数】公開・登録公報2015-043
 【出願番号】特願2013-267997(P2013-267997)
 【国際特許分類】

F 2 3 J 3/04 (2006.01)

【 F I 】

F 2 3 J 3/04

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月2日 (2015.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

排ガスを流動可能な排ガス通路と、
 前記排ガス通路に設けられて排ガス中の固体粒子を回収可能なホッパと、
 前記ホッパからの固体粒子の流出を阻止可能な抵抗部材と、
 を有し、

前記抵抗部材は、前記ホッパの上部に排ガスの流れ方向に対して交差する水平方向に沿って配置される邪魔板を有し、

前記邪魔板は、前記ホッパの上部で且つ排ガスの流れ方向の下流側端部に配置される第 1 邪魔板と、前記ホッパの上部で且つ排ガスの流れ方向の中間位置に配置される第 2 邪魔板とを有し、

前記第 2 邪魔板は、鉛直方向における下端部が排ガスの流れ方向の下流側に向けて傾斜して配置されると共に、前記ホッパの貯留部の上方に配置される、

ことを特徴とする排気ダクト。

【請求項 2】

前記第 1 邪魔板は、排ガスの流れ方向に対向する固体粒子の衝突面が前記ホッパの底部側を向いて配置されることを特徴とする請求項 1に記載の排気ダクト。

【請求項 3】

前記ホッパは、前記排ガス通路から鉛直方向の下方に向けて凹形状をなして形成され、前記抵抗部材は、前記ホッパ内で前記排ガス通路へ突出しないように配置されることを特徴とする請求項 1 または請求項 2のいずれか一項に記載の排気ダクト。

【請求項 4】

前記ホッパに対して排ガスの流れ方向における上流側または下流側に前記排ガス通路の内壁面より反発係数の小さい低反発部が設けられることを特徴とする請求項 1 から請求項 3のいずれか一項に記載の排気ダクト。

【請求項 5】

中空形状をなして鉛直方向に沿って設置される火炉と、
 燃料を前記火炉内に向けて吹き込んで燃焼させる燃焼装置と、

前記火炉における排ガスの流れ方向の下流側に連結される請求項 1 から請求項 4のいずれか一項に記載の排気ダクトと、

前記排気ダクトに設けられて排ガス中の熱を回収可能な熱回収部と、
を有することを特徴とするボイラ。